

cha nova



cha nova (ちやのば 健康福祉交流センター)
がオープンしました。視察も受け入れています。

令和7年3月定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑 >>> P.2

条例改正他 >>> P.5

一般質問 3人が町政を問う >>> P.8

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

私の推し 湯船在住・田中御夫妻さん >>> P.14

議長のあいさつ

3月21日の定例会において、議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であると同時に、職責の重大さに身の引き締まる思いです。

鷲峰山トンネルの開通、健康福祉交流センターの竣工は町内外の交流促進や経済活動の活性化など本町の歴史にとって非常に重要な1ページになります。

一方、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化、農業従事者の高齢化・担い手不足、さらには大規模災害対策など課題は山積しています。

二元代表制の一翼を担う議会としてこれらの課題に正面から向き合い、行政とも大いに議論を交わしながら住民のみなさまの期待に誠心誠意、応えてまいります。

そして活発で開かれた議会をめざし全力を尽くしてまいりますので、みなさまの一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議会構成が変わりました

議長に 畑 武志氏



畑 武志 議長

令和7年3月21日の定例会で、正副議長や常任委員などの議会構成を変更しました。

議長 畑 武志

副議長 岡田 勇

監査委員 小西 啓

委 員 会

議会運営委員会

委員長 小西 啓
副委員長 井上 武津男
委員 高山 豊彦
委員 吉田 哲也
委員 岡田 勇

総務厚生常任委員会

委員長 吉田 哲也
副委員長 岡本 正意
委員 井上 武津男
委員 小西 啓
委員 畑 武志

産業常任委員会

委員長 高山 豊彦
副委員長 山本 達也
委員 宗 健司
委員 村山 一彦
委員 岡田 勇

広報編集委員会

委員長 井上 武津男
副委員長 宗 健司
委員 村山 一彦
委員 吉田 哲也
委員 岡田 勇

広域連合議会

高山 畑 岡田
山本 達 豊 武 勇
也 彦 志

相模東部広域連合議会議員

高山 豊彦

京都地方税機構広域連合議会議員

村山 一彦

京都府後期高齢者医療広域連合議会議員

一部事務組合議会

高山 小西
山本 達 豊 啓
也 彦

国民健康保険山城病院組合議会議員

山本 畑 武
達 志

相模中部消防組合議会議員

岡本 畑 武
正 志

相模郡広域事務組合議会議員

令和7年度
予算

第5次総合計画後期基本 計画策定に向け予算編成



6月末に完成予定

総合保健福祉施設整備事業
(駐車場整備)
5203万円
保育所運営事業
1億535万円
児童手当給付事業
3656万円

子どもから高齢者ま
での全ての住民が健
やかに暮らせる郷

「第5次総合計画前期基本
計画」の最終年度となる令和
7年度予算は、計画に掲げる
将来像「和の郷 知の郷 茶源
郷和東」の6つの施策に沿っ
て編成された。健康福祉交流
センターの完成もあり、一般
会計では6年度に比べ5億4
000万円弱の減額となった。

当初予算は、3月12日～13日に開かれた予算特別委員会で審議し、令和7年度に取り組む事業や予算の使い方等について質疑を行いました。討論、採決の結果、一般会計及び4特別会計・2公営企業会計の当初予算を原案通り可決しました。

生きる力を育む教育
と生涯にわたった学
びの郷

相楽東部広域連合負担金
(教育費分)
2億7554万円

大阪・関西万博きょうとの力
創出・発信事業
1150万円

自然と共生し、安
心・安全な郷

防災行政無線更新事業
2億4799万円

木造住宅耐震対策事業
1005万円

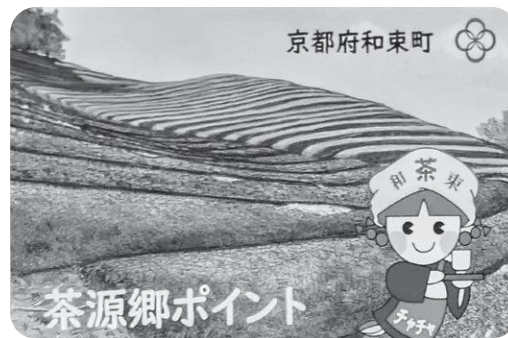
森林経営管理事業
1101万円

お茶観光を軸とした
交流の郷

デジタル地域ポイント事業
453万円

ワールドマスターズゲームズ
推進事業
724万円

景観保全事業
557万円



茶源郷ポイントカード

快適で美しい環境の郷

石寺橋整備事業
1億1627万円

橋梁長寿命化修繕事業
4712万円

町道中溝学校線改良事業
1億1164万円

茶源郷乗合交通生活お届け事
業(WazCar)
3085万円

《各会計の予算額》

一般会計	39億9130万円
湯船財産区	214万円
国民健康保険	6億9020万円
介護保険	7億3035万円
後期高齢者	9790万円
簡易水道	2億3076万円
下水道	1億7695万円

(簡易水道と下水道は収益的収入の額)

住民と行政のパート
ナースhipによる郷

茶源郷行政情報配信システム
事業
976万円

電子計算費
1億2468万円
第5次総合計画後期基本計画
策定事業
578万円

主な質疑

健康福祉交流センター

問 この施設の電源は、ソーラーシステムで供給されるという事ですが、不足した場合の対応は。

答 72時間連続稼働が可能なディーゼル発電機を設置しておりそれにて対応する。



ディーゼル発電機

問 その発電機用の燃料タンクが1000リットルあると聞くと、屋上に上るにはしごしかない。どのように燃料補給するのか。

答 今後検討させていたいただきたい。

問 専門職のスタッフは配置できたのか。

答 看護師1名を確保できたが、現状それが精一杯。



診療所ウォーターベット

問 避難所と想定されていると聞くと、機能というのはどういうことを想定されているのか。

答 基本的には福祉避難所と考えており、収容人数が要配慮者とその介助者を含め、多目的ホールで54名を考えている。



多目的ホール

その他

問 地域おこし協力隊事業で、次年度の採用予定者、そして予定されている業務は。

答 採用予定は2名で、募集している分野は3つの分

野で募集をかけている。①インバウンド需要に対応したまちづくりに取り組み方②スポーツを通じた地域活性化に取り組み方③農業の活性化に取り組み方。

問 茶源郷乗合交通生活お届け事業で備品購入費、公用自動車、300万円が計上されているが。

答 軽自動車2台購入予定。

問 現在ワッカーには普通車2台あるが、車が足りないのか。

答 今宇治田原町への延伸ということも予定しており、そうすると車不足が生じてくるので、その対策である。

問 地域防災計画を見直しされたと聞くと、その内容は。

答 現在、地域防災計画の見直しということで事務を進めている。第一に住民等の円滑な安全な避難確保、また防災対策に備えた地域の防災力の向上と発

展と継続。

問 防災井戸の登録を進めていつてはどうか。

答 防災井戸については、和東町の地域防災計画にも織り込んである。令和7年度に向けて防災井戸の協力をしていただけるように本格的に事業に入っていきたい。

問 シルバー人材センター設立の概要は。

答 活動範囲は和東町全域で、令和7年度当初にシルバー人材センターの設立準備をさせていただく。そして協力いただける労働者の登録を進めていく。設立は今年度後半期の予定。

問 避難所に指定されている和東小学校の体育館に空調設置できないのか。

答 空き教室は全て空調が完備されているので、避難所として活用していきたい。又、小学校の中庭の小ホールに空調をつけるということで、令和7年度予算で、計画から設置に向けた準備をしていきたい。

反対討論

おかもとしょうい
岡本正意議員

賛成討論

はた たけし
畑 武志議員

異常な物価高騰から住民生活やなりわいを可能な限り支えることが求められるが、全体としては極めて不十分。

①公共料金は値上げせず、期間限定でも軽減する取組を求める②若い世代、子育て世代への定住促進に向けた施策・メッセージを③高齢者の生活支援の強化・改善を④保健・福祉・医療を担う専門スタッフの配置を⑤公共交通の高い料金負担を改善すべき⑥茶業の担い手を増やす方向性を真剣に探求すべき⑦相楽東部広域連合は様々な面で機能不全が目立つ。最低でも教育委員会を町村事務に戻すべき。

第5次総合計画に掲げる様々な施策のさらなる充実・発展を目指した予算編成となっている。

①健康福祉交流センターが町民の心の拠りどころとなり住み慣れた地域で安心して生活できる体制の構築を期待する②防災行政無線の更新など、災害に強いまちづくりが進められる③住民にも観光客にもやさしい交通ネットワークの形成が推進されている④医療、保育、教育ほか多角的な子育て支援予算が計上されている⑤ワールドマスタースゲームズ2027関西の事業予算の計上など、関係人口・交流人口の拡大を目指した取り組みを加速されている。

※討論は、いずれも一般会計予算に対するものです。

条例の制定・一部改正、補正予算などすべて可決されました。

第1回臨時会

LGWAN接続系端末・インターネット接続系端末購入契約

契約金額

1077万7800円

契約相手方

キシステム株式会社京都支社

全員賛成で可決

【一般会計補正予算】

デジタル地域ポイント事業や物価高騰緊急支援給付事業等で予算の補正が必要。
補正額 5290万円
賛成多数で承認

第1回定例会

条例（町長提案）

刑法等の一部改正に伴う関係条例の整理条例

刑法改正で懲役・禁錮が廃止、拘禁刑が創設されることに伴う関係条例の改正。

消防団員等公務災害補償条例

例の改正

政令改正に伴い、消防団員等・消防作業従事者等の補償基礎額、扶養にかかる補償基礎額の加算額を改正。

非常勤消防団員退職報償金支給条例の改正

政令改正に伴い、消防団員退職報償金の勤務年数の区分を改正。

国民健康保険税条例の改正

国民健康保険税の課税限度額を109万円に引き上げ。軽減措置のうち、5割軽減・2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準の改正。

特別職の職員（常勤）の給与及び旅費条例の条例

特別職の給与月額の見直しに加え、地域手当を支給する改正

町長

70万円→73万5000円

副町長

57万5000円
↓
60万3000円

地域手当 4%

議会議員の議員報酬・費用弁償等条例の改正

平成6年以来改定されていない議員報酬を近年の経済情勢等に鑑み改正する。

議長

27万円→31万円

副議長

20万円→23万円

議員

16万円→18万4000円

職員給与条例の改正

地域手当の追加と、扶養手当の額の改正など。

B&G海洋センター条例の改正

組織条例の改正に伴い担当課を、まちづくり応援課に変更。使用料に町外料金を追加。

地域福祉計画策定委員会条例の改正

体験交流センター設置・管理条例の改正

いずれも組織条例の改正

に伴う所管課の変更や所管課名の改正など。

石寺景観展望施設の設置・管理条例の制定

なりわい景観を生かしたまちづくりや安全快適な観光を推進し、また災害時の避難場所やコミュニティ広場としても活用する。

簡易水道事業設置条例の改正

特定環境保全公共下水道事業設置条例の改正

地方自治法改正に伴い、条ずれが生じたため改正

国民健康保険直営診療所設置・管理条例の全部改正

診療所が健康福祉交流センターに移転することに伴う改正

職員等旅費条例の改正

自宅等からの出張にかかる旅費の支給を可能とする。東京都での宿泊費は実費を支給する（ただし上限は1万9000円）。



石寺景観駐車場



石寺景観

その他

財産の無償貸付

健康福祉交流センターの一部を社会福祉協議会に無償で貸付ける。

町道路線の認定・廃止

鷲峰山トンネルの開通に伴い、旧宇治木屋線の宇治田原町との境界まで延長し和東宇治田原線として認定。また若山犬打峠線を認定。

和東山の家の指定管理者の指定

和東山の家（和東荘）の指定管理者として一般財団法人和東町活性化センターを指定。

補正予算

一般会計

地域おこし協力隊や移住・定住促進事業、総合保健福祉施設整備事業などの完了による減額。

国民健康保険特別会計

一般被保険者療養給付負担金の減額。

介護保険特別会計

京都府で開催されている認定審査会委託事業費や過誤納還付金の増額。

簡易水道事業会計

特定環境保全公共下水道事業会計

いずれも収益的収入および支出において事業費確定に伴う減額。

自治功労者表彰に同意

永年にわたり、選挙管理委員として本町自治の発展に貢献された

木崎 善史 氏
きざき よしふみ

議会発議

- ① 議会委員会条例の一部改正
② 議会の個人情報保護条例の一部改正
- 提出者 議会運営委員長 岡田 勇 議員

可決

《いづれも賛成者全員》

意見書

第1回定例会（3月）に次のとおり意見書が提出され、①の意見書は所管大臣等に送付しました。

- ① 高額療養費の見直し・負担増の白紙撤回を求める意見書

提出者 岡本 正意 議員

可決

《賛成者5人》
《反対者4人》

- ② 応能負担、生計費非課税の原則に立った公平な税制を求める意見書

提出者 岡本 正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者6人》

各議員の賛否

令和7年第1回臨時会(1月)・第1回定例会(3月)に提出された議案のうち賛否がわかれたもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名									
			村山一彦	宗健司	山本達也	高山豊彦	井上武津男	岡本正意	畑武志	小西啓	岡田勇	吉田哲也
臨	令和6年度和束町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	－
本	和束町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－
本	和束町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－
委	令和7年度和束町一般会計予算	可決	－	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和7年度和束町国民健康保険特別会計予算	可決	－	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和7年度和束町介護保険特別会計予算	可決	－	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和7年度和束町後期高齢者医療特別会計予算	可決	－	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委	令和7年度和束町簡易水道事業会計予算	可決	－	○	×	○	○	×	○	○	○	○
委	令和7年度和束町特定環境保全公共下水道事業会計予算	可決	－	○	×	○	○	×	○	○	○	○
本	和束山の家の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	－
本	令和6年度和束町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－
本	高額療養費の見直し・負担増の白紙撤回を求める意見書	可決	×	×	○	×	○	○	×	○	○	－
本	応能負担、生計費非課税の原則に立った公平な税制を求める意見書	否決	×	×	○	×	○	○	×	×	×	－

※会議区分 臨は臨時会 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ーは採決に加わらない。

吉田哲也議長は本議会の採決に、村山一彦予算特別委員長は予算の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

3月7日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山豊彦議員（9ページ）

1. 増加傾向にある来訪者の受け入れ態勢は
2. 住民生活改善の取り組みを問う
3. 地域猫の取り組みを問う

②山本達也議員（10ページ）

1. 令和7年度に行うべき町の喫緊の課題、優先順位ベスト5は
2. お茶農家さんの高齢化に伴う後継ぎ問題の解決の方策は
3. 耕作放棄地が放置されている現状、新規就農者誘致の具体的な取り組みは
4. 町外流出人口の食い止め策で抜本的な対策は

③岡本正意議員（11ページ）

1. 戦後・被爆80年・町の戦争の歴史、体験を継承するとりくみを
2. 安心の国民健康保険を
3. 住宅の整備、確保を
4. 水道、汲み取り料金の軽減を
5. 将来にわたる茶業の担い手確保の方向性は

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和東町チャンネルでご確認ください。



たかやま とよひこ
高山 豊彦 議員

増加傾向にある来訪者の 受け入れ態勢は。

町長

和束ならではの受入れができる
仕組みづくりに取り組みたい。

問 令和6年の来訪者数は。

答 地域力推進課長

令和6年の観光入込人数は現在調査中、4月から12月までの農泊体験と日帰りツアーの受入れは3310人前年比118%、観光案内所来所者数4615人前年比116%、グリーンスローモビリティ利用者数415人前年比103%となっており全体として増加傾向にある。令和5年は過去最多の19万3762人となっている。

問 和束茶カフェ・交流ステーション「和束の郷」の令和6年の運営状況は。

答 農村振興課長

和束茶カフェは会員数43件で、売り上げ実績は令和4年4418万円、令和5年5279万円、令和6年6855万2000円。交流ステーションは会員数56件で、令和4年1400万円、令和5年1819万円、令和6年1970万円となっている。

問 現在募集している茶源郷ティーパーク実施計画を提案した業者が事業にどう関わるのか。

答 町長

今回の募集は、プロポーザルの仕様づくりと考えている。民間活力を活用するためにどういったPRをすることで民間業者が来ていただけるか、本町のポテンシャルがどれだけあるのか調査をしていただく。

住民生活改善の取り組みを問う

問 茶源郷乗合交通の6月以降の利用者数と今後の計画は。

答 総務課長

1月末現在、湯船地区1106人、湯船地区以外174人（内町外45人）計1280人となっている。今後の計画は朝6時始発の定期便を令和7年度から予約対応とし、湯船地区以外の土日祝の運行も予定している。また、宇治田原町への延伸について車両を増設し通勤・通学を対象に試験運行する予定で関係機関

と調整していきたい。

問 本町から宇治田原町を経由し宇治駅まで通学定期代を計算すると1万5000円程度の負担増になると予想されるが、利用されると考えているのか。

答 町長

保護者の方と話をしながら検討しているが、朝から送ることを考えると有利との声がある。

問 WazCarの本来的目的は奈良交通のバス停から遠い地域の方に利用していただくことで路線バスの利用者増を図ることにある。

答 町長

令和7年度予算で車両を購入し小型化することで現在路線のない地域の充実を図りたい。

問 移動スーパ再開の取り組みは。

答 農村振興課長

12月補正予算で委託費を計上し月5万円で再度募集したが応募者がなく、今後

も募集を考えている。

地域猫の取り組みを問う

問 相楽動物の適正飼養推進協議会の活動は。

答 農村振興課長

動物の適正な飼養管理を啓発し、動物愛護の意識を高めるとともに社会生活の安全と公衆衛生の向上を図るための活動をしている。

問 野良猫の去勢や避妊手術費用の補助制度の考えは。

答 農村振興課長

問い合わせを受けることは少なく、現在のところ必要ないと考えている。

問 行政に相談されていないだけで困っている人はいない。公益財団法人動物基金を活用した無料の避妊手術事業があるが、それを活用することで支援ができないか。

答 町長

手術後にどこに戻すかという問題もあるので十分検討しながらできる範囲でやっていきたい。

令和7年度に行うべき町の喫緊の課題、優先順位ベスト5は

やまもと たつや 議員
山本 達也



優先順位は無く令和7年度当初予算全てが最優先。

町長

問 令和7年度に行うべき町の喫緊の課題、優先順位ベスト5は。

答 町長

令和7年度当初予算全てが最優先。近未来を見据えた事務事業の在り方など議論を重ね、持続可能なまちづくりに取り組みたい。

問 町の喫緊課題をお伺いした。私が考えた5つを述べる。①空き家バンクに登録してもらえない問題。移住希望者が増加中の今、今までと違う手放しやすい、貸し出しやすいアプローチが必要。②和束は周りの市町村に行きやすい場所と和束に住み周辺地域で働くベッドタウン構想もあるのでは。③お茶が基幹産業であり専門の部署が役場に必要。後継ぎや耕作放棄地問題から和束茶を世界にPRする事まで多岐に渡る分野をやる部署を考えられないか。④高齢者ケアも含めた交通網の拡充。町外へ行く需要に応える交通網の整備。⑤和束を積極的に発信する専門部署創設と活性化セン

ター併用で和束町のアピール力を高める。



空き家バンクチラシ

問 お茶農家さんの高齢化に伴う後継ぎ問題の課題の解決方法や方策は。

答 農村振興課長

約50名の認定農業者のうち毎年数名選定し面談。親族の要望からの後継ぎは考えるが他人には継がせないとの意見が多く特に後継者問題に困る等の意見はない。

問 耕作放棄地が放置されている現状、新規就農者誘致の具体的な取り組みは。

答 農村振興課長

利活用できない放棄地は20〜40ヘクタール程度ある。放棄前の利活用が望ましいが、親族以外に後を継がせたくない場合は貸与が困難で放棄地となる。意見を聞

きながら農業委員会で協議していく。

問 町外流出人口の食い止め策で抜本的な対策は。また町外へ出た方が和束町に戻って来なくなる支援策は。

答 総務課長

第5次総合計画並びに第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき取組を進めてきた。ただ2020年から5年間で482人減少。今年度より第5次総合計画の後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けて取り組んでいる。

問 和束町役場に通勤されている方の約半分以上が町外からで、どういう施策・環境があれば町に住みたい、町に戻って来たいと思えるか等の無記名アンケートを取れば流出食い止め策のヒントが出ないか。

答 町長

個人のプライバシーがあり難しい。転出転入者に対するアンケートで一番大

きな原因は婚姻。実家で同居をしない、夫婦間の勤め場所が違うのも流出の要因。

問 和歌山県印南町の移住定住視察では町と民間が協力して集合住宅を建てて住まいを確保。本町でできるか。

答 町長

民間との連携も含めてできることはやろう、できないことは諦めていこうという事で取り組む。

問 移住希望者が増加する中、空き家バンクに登録してもらったための抜本的な対策や取組みは。

答 地域力推進課長

各区長に会い今後和束町全域を移住促進特別区域にするべく協議をし、認められれば所有者が行う家財の撤去等への補助上限額が5万円から10万円に、移住者が行う家屋の改修の補助上限額が90万円から180万円に引き上げられるほか、京都府税の不動産取得税の2分の1減が受けられる等支援が拡充される。

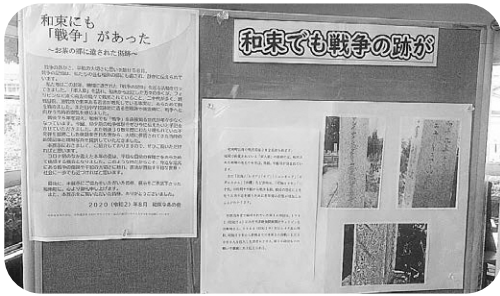


戦後・被爆80年・町の戦争の歴史、体験を継承するとりくみを

おかもと しょうい 議員
岡本 正意

町長

戦争は絶対にやってはいけない方法をいろいろ検討したい



戦争の歴史・体験の継承を

問 和東でも300人超の戦死者を出した戦争の歴史、体験を継承する取組みを。

答 町長 今の情勢に合わせ、いろいろな方法を検討したい。

問 非核平和宣言の町として政府に核兵器禁止条約参加を求めよ。

答 町長 担当課と調整し対応したい。

問 平和も暮らしも壊す政府の大軍拡に反対を。

答 町長 地方自治体で議論するものではない。

安心の国民健康保険を

問 高額療養費の負担増に反対し白紙撤回の要請を。

答 町長 患者負担を増やすのは難しい一方で財源確保の必要性も理解できる。しっかりとした制度構築を望む。

問 均等割、平等割の負担軽減を。最低でも子どもの均等割軽減を。

答 町長 税住民課長 生活支援での独自軽減は難しい。

問 約200万円で見えない子どもの均等割免除の検討を。

答 町長 今後、内容を勉強し検討したい。

問 葬祭費の増額を。

答 町長 即答は困難だが負担が増えている認識はある。

答 税住民課長 近隣市町村の状況も参考に調査研究したい。

住宅の整備、確保を

問 民間の賃貸住宅整備の誘致検討を。

答 町長 検討の余地はあるが慎重に進めていくべき。

問 民間での整備と公的な家賃補助をセットで検討すべきでは。

答 町長 検討課題と考える。

問 一定数の公的住宅整備は必要であり選択肢として排除せず検討を。

答 町長 選択肢は多くある方が良く、と思っています。

水道、汲み取り料金の軽減を

問 水道料金の減免実施を。

答 町長 使用者の応分の負担を理解いただきたい。

問 水道料金減免は最も効果がある支援であり期間限定でも実施を。

答 町長 料収入の減収が続いており理解を。

問 汲み取り料金値上げを転嫁せず補填を。

答 町長 最低限の値上げと考えている。

将来にわたる茶業の担い手確保の方向性は

問 後継者、担い手の現状、今後の見通しは。

答 町長 農村振興課長 新規就農は過去10年で12人、半数以上が定着。後継者では認定農業者3名が支援を受けている。

答 町長 和東茶の知名度を高め売手市場へ移行できるよう模索したい。

問 後継者、担い手を増やす方向性は。

答 町長 人口減少の中で農家が増えることは想定していない。

総務厚生常任委員会

ふるさと納税は
昨年度の1.5倍に畑井上・山本
小西・村山

2月26日、令和6年度事業の進捗状況等を調査し、併せて令和7年度当初予算の概要の説明を受けた。

また照明のLED化が完了した海洋センターを訪れその状況を確認するとともに、周辺の樹木の状況も確認した。

令和6年度一般会計予算は総額48億2220万円で歳入32億5006万円、歳出21億6876万円となっている。

総務課

○ふるさと応援寄附金事業は2月7日現在、406件616万6000円で、金額は昨年度より1.5倍以上の伸びとなっている。

○奈良交通バス利用促進及び交通空白地の解消を目的とする茶源郷乗合交通生活お届け事業の登録者

は373人、利用者は1721人であった。

○町内での経済循環の創出やイベント参加への動機づけにつながるためデジタル地域ポイント事業を3月中旬からスタートする。

税住民課

○町税は3億1307万円の収入、収納率は92.70%。

○価格高騰緊急支援給付（補足給付）事業は均等割のみは154世帯、こども加算は57人、調整給付は601人に給付。

福祉課

○児童手当給付事業は制度改正があり、2か月に一度の給付となっている。

委員からの意見や質問

問 和東町チャネルの視聴率は。スマートフォンアプリにすることで費用が抑えられるのではないか。

答 現在のシステムで視聴率は出せない。スマートフォンアプリは検討したい。

問 共同浴場の利用者数を増やす取り組みとして回数券の枚数を増やすことは可能か。

答 利用者の声を聴いて検討する。



共同浴場券売機

一部事務組合議会報告

相楽広域行政組合議会

令和7年第1回定例会

日時 2月20日午後1時30分
内容

- ・監査委員の選任に同意
- ・組合職員に関する条例（6議案）や、休日応急診療所設置条例、廃棄物の処理・清掃条例の改正などが提案された。廃棄物の処理・清掃条例はし尿汲み取り手数料を改定するもの。
- ・令和6年度一般会計補正予算は787万1000円を減額するもの。
- ・令和7年度一般会計予算総額は4億3300万円。相楽会館建替事業などが主な事業。

相楽中部消防組合議会

令和7年第1回定例会

日時 2月20日午前10時1分
内容

- ・公平委員（北澤三茂氏・尾崎忠教氏）の選任に同意
- ・組合職員に関する条例（6議案）や、組合議会の個人情報保護条例の改正などが提案された。
- ・令和7年度一般会計予算総額は41億9980万円新庁舎建設工事やその関連業務、京都府南部消防指令センター整備が主な内容。

山城病院組合議会

令和7年2月定例会

日時 2月21日午前9時30分
内容

- ・一般質問は3名
- ・医療事故に対する損害賠償の額の決定（専決処分）。
- ・職員給与条例の改正、使用料等徴収条例の改正（医療センター・介護老健施設）などが提案された。
- ・令和6年度の病院事業会計補正予算は3500万円の減額。介護老健施設事業会計補正予算は2754万7000円の増。
- ・令和7年度病院事業会計予算の収益的収入・支出は94億6561万8000円。
- ・令和7年度介護老健施設事業会計予算の収益的収入・支出は5億1004万2000円。

産業常任委員会

石寺景観前駐車場！

大型連休には完成・利用開始へ

岡本
高山・宗
岡田・吉田

2月25日に開催した委員
会では、令和6年度事業の
進捗状況を審議すると共に、
令和7年度当初予算の概要
について説明を受けた。現
地視察では、石寺橋架け替
え工事にもなう西谷橋等
3つの橋の補強工事や石寺
景観前駐車場の工事現場を
視察した。

【質疑での委員の主な意見】

- ・健康福祉交流センターの
内装、備品等の整備状況
は。
- ・地域おこし協力隊の中途
退職の理由は。
- ・首都圏からの移住を促す
事業の実績や課題は。
- ・祝橋周辺の道路整備の方
向性は。
- ・トンネル開通後の町内商
店の維持、振興策は。

・移動販売事業の応募状況、
方向性は。

- ・健康福祉交
流センター
建設費用の
膨張と町財
政への影響。
・施設への進
入道路と府
道との交差
点での信号
機設置を。
- ・空き家バン
ク制度の改
善を。

【現地調査：

3橋の補強状
況、景観前駐
車場を視察！
堀尾橋、西
谷橋、東出橋
の順番で視察。



橋梁補強工事現地調査

補強は完成したが、舗装等
を残しており近日中に整備
する予定との説明。補強部
分は石寺橋の架け替え工事
が終了次第撤去を予定して
いる。石寺景観展望施設の
工事現場ではトイレ等の進
捗状況を確認し、5月の大
型連休に利用が間に合うよ
う工事を進めている等の説
明をうけた。

広域連合議会報告

京都府後期高齢者医療広域連合議会

令和7年2月定例会

日時 2月14日午後1時30分

内容 議会選出監査委員に山崎良磨氏（与謝野町）を選出。

・一般質問は3名。
・広域連合議会の個人情報保護条例や連合職員の勤務
時間条例などの一部改正、広域計画（第5時）の変
更などが提案された。

・令和6年度一般会計は93億69万1000円を増額
補正、特別会計は32億6233万1000円を増額
補正。
・令和7年度一般会計予算総額は11億8345万70
00円、特別会計は4439億892万円。

・いずれも可決された。
・請願2件は賛成少数で否決。

京都地方税機構議会

令和7年2月定例会

日時 2月7日午後2時

内容 議会選出監査委員に山崎良磨氏（与謝野町）を選出。

・一般質問は1名。
・令和7年度一般会計予算総額は24億1356万10
00円。

・令和6年度一般会計は1億6903万5000円を増額補正。
・そのほか、刑法の一部改正に伴う関係条例の整理、
機構個人情報保護条例や会議規則の一部改正、傍聴
規則の全部改正が提案された。
・いずれも可決された。

相楽東部広域連合議会

令和7年第1回臨時会

日時 2月4日午後2時30分

内容 相楽東部地域公平委員会委員の選任に同意入れる。



様々な方に、和東の「いいとこ」を語っていただく新しいシリーズ「いいとこ和東 私の推し」。今回は、東京から和東茶に惹かれ移住して4年目を迎える湯船在住の田中昇太郎、美代子ご夫妻です。



Q 今はどのような活動をされていますか？

(昇) 私は会社を設立して和東町内の茶農家さんとかお店の宣伝の手伝いをしています。また、ほうじ茶専門の販売店桶カ茶店を最近町内で開店しました。

(美) 私は今は20年間和東町の特産品作りをされてきた恋茶グループさんの後を引き継ぎ、4月からグループの代表をやらせてもらってます。



美代子さんの好きな風景（撮影 田中 美代子氏）

Q 和東町に住まれて印象はどうですか？

(昇) 和東の人は皆さん和東町は不便と言われますが、私たちは全然不便と思った事はなく、むしろ自然がいっぱいで周りの景色、特に茶畑が綺麗です。周りの人達もすごく素敵な人ばかりで大好きです。

(美) 私も周りの人はみんな優しく、すごく応援してくれます。昔からこの町に住んでいるような感じがして直ぐに友達もできました。

「私の推し」は 昔を象徴する杉の木と 自然の四季を感じる風景

Q 和東町の好きなところを教えてください。

(昇) 風景で言えば私の家の庭から見える杉の木が植えてある山並みです。昔湯船地区の人が林業を生業としていただけにすごく綺麗な山並みです。

(美) 私は四季が感じられる湯船森林公園です。今の時期に咲く花ですとミツマタ、桜、モクレン、そしてこれからツツジが咲きます。秋にはもみじが紅く綺麗です。

（取材：井上武津男・宗健司）



昇太郎さんの好きな風景（撮影 宗 健司）

第2回定例会は、6月中旬開催予定。

委員長	井上 武津男
副委員長	宗 健司
委員	村山 一彦
委員	吉田 哲也
委員	岡田 勇

広報編集委員会

（井上 武津男）

又、日本を取り巻く世界情勢も混沌としており、予断をゆるさない現状であります。我々としては、常に前向きの方でより良い行政・議会運営を目指し、和東の皆様とともに邁進して行くつもりであります。

新茶の香る季節となり、農家の方々には、日々忙しい毎日をお過ごしのことかと思われまします。今年は2月に鷺峰山トンネルの開通、4月に社会福祉施設の開設と目まぐるしい日々の中で、新年度（令和7年度）が始まりました。鷺峰山トンネルの開通がもたらすものの、社会福祉施設がもたらすものの、和東の住民の皆様方にとどのような変化を示していくかは、期待と、はたまた失望につながるかは、これからの行政の手腕にかかっていると感じております。

編集後記